

# グローバル・スタディーズ 特別研究 : 学校教育と不平等

## 第1回: 序論 目的と概要

### 担当教員

- 松岡亮二, Ph.D.
- 専門
  - 教育社会学
  - 教育原理学
  - 教育政策学
  - 比較教育学
- 研究テーマ・手法
  - 教育を通じた社会的不平等の再生産
  - 大規模データによる計量分析

### 今年度の担当授業 : GEC

- 春学期 (前半)
  - ・グローバル・スタディーズ入門 03
  - ・グローバル・スタディーズ演習 : 教育不平等 01
  - ・グローバル・スタディーズ特別研究 : 学校教育と不平等 01
- 春学期 (後半)
  - ・Introduction to Global Studies 03
  - ・Global Studies Seminar : Inequality in Education 01
  - ・Advanced Studies in Global Perspective : Social Inequality in Schools 01
- 秋学期 (前半)
  - ・グローバル・スタディーズ上級演習 : 教育格差と対策 01
- 秋学期 (後半)
  - ・Global Studies Advanced Seminar: Confronting educational inequalities 01

### 今日の授業内容

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 講義概要      | 1. 筆記・議論 |
| 1. 担当教員      | 1. 3分筆記  |
| 2. 授業について    | 2. 対面議論  |
| 3. 目的        | 3. 3分筆記  |
| 4. 学びの過程     | 4. 対面議論  |
| 5. 受講要件/成績評価 | 5. 対面議論  |
| 6. 授業規則      | 6. 全体議論  |
2. 自己紹介

### 授業について

- ✓教育社会学の **理論** と **実証知見**
  - ✓どのように社会経済的地位が **学校制度を通した上で** 教育達成に繋がるのか—— **教育不平等の再生産メカニズム**——を理解する
    - ✓主に日本とアメリカのケース

### 目的

- ✓学校教育と教育の関連について
  - ✓具体例と **理論・実証知見** を繋げることができるようになる
  - ✓自身の教育経験の **軌跡** (教育歴) の理解

## 学びの過程... 10ステップ



## 受講要件/成績評価

- 出席・参加: 25%
  - 8回 (全クラス)
- 小テスト: 25%
  - 7回 (第2回～8回)
- 授業レポート: 35%
  - 6回 (第2回～6回 & 8回)
- 期末レポート: 15%
  - 1回 (第7回)

## 授業時間内の流れ

1. 小テスト (出席カード扱い) & 答え合わせ
2. 授業レポートの共有
3. 短い講義
4. 筆記・議論
  1. 3分筆記
  2. 対面議論
  3. 3分筆記
  4. 対面議論
  5. 対面議論
  6. 全体議論

## 授業規則

- ✓ 授業に集中するために必要なのは**ペン**のみ
- ✓ **私語厳禁**

### 不要品

- ノートパソコン
- イヤホン
- 携帯・**スマートフォン** (授業前に電源を切り, カバンに入れること)
  - SNS (Line, Facebookなど)
  - オンラインゲーム
- 帽子
- 食べ物

授業規則の違反2回で成績は自動的にFとなる

## 社会的再生産 (Social Reproduction)

### 社会的な不平等の世代間伝達

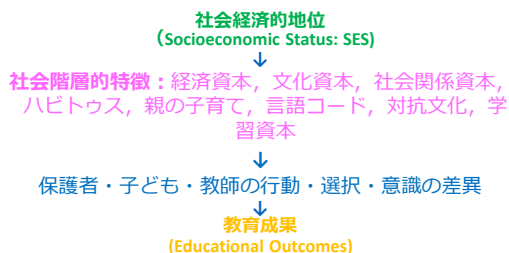
(Intergenerational transmission of social inequality)

#### 親の社会経済的地位

- 学力
- 大学進学
- 収入
- 到達する社会経済的地位

## 「教育不平等」

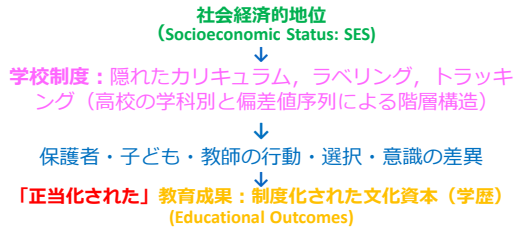
どのように(how) 社会的再生産が起こるのか?



## 「学校教育と不平等」

どのように(how)学校制度を通して社会的再生産が起こるのか?

= 学校教育を通して家庭の社会経済的地位が「制度化された文化資本」として「正当化」される過程



## 授業レポート

✓月曜日の23時59分

✓1100文字以上

✓質問文は引用せず・番号を明示する

✓すべてのお題について (文字数は等分である必要はない)

以下の3点について, 自身の経験や観察に基づいた具体的事例を挙げつつ自分の考えを論ぜよ。

1. 自身の受けてきた学校教育について  
(小学校・中学校・高校)
  - a. 良かった点
  - b. 悪かった点
2. 学校教育の公的な役割
  - i. 義務教育 (小・中学校)
  - ii. 高校
3. 理想的な学校教育
  - A) 義務教育 (小・中学校)
  - B) 高校

## 3分筆記・少人数/全体議論

以下の3点について, 自身の経験や観察に基づいた具体的事例を挙げつつ自分の考えを論ぜよ。

1. 自身の受けてきた学校教育について  
(小学校・中学校・高校)
  - a. 良かった点
  - b. 悪かった点
2. 学校教育の公的な役割
  - i. 義務教育 (小・中学校)
  - ii. 高校
3. 理想的な学校教育
  - A) 義務教育 (小・中学校)
  - B) 高校

## 読書課題 → 小テスト

苅谷剛彦 (2014) .プロローグ・エピローグ・補論. 増補・教育の世紀: 大衆教育社会の源流(pp.9-14, 301-338):筑摩書房